

| | |
|-------------------------------------|---|
| 事業所名 | グループホームあいあい (クリックすると事業者の情報にリンクします) |
| 日付 | 平成18年 8月 4日 |
| 評価機関名 | ㈱東京リーガルマインド (クリックすると評価機関の情報にリンクします) |
| 評価調査員 | A:現職 生活指導員 資格・経験 身体障害者職業生活指導員、社会福祉主事、NAAHP-2級、介護支援専門員 B:現職 理学療法士 資格・経験 理学療法士、介護支援専門員 |
| 自主評価結果を見る | (事業者の自主評価結果にリンクします) |
| 評価項目の内容を見る | (評価項目にリンクします) |
| 事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります！) | (事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします) |

外部評価の結果

| |
|--|
| 調評 |
| 全体を通して特に良いと思われる点など(記述) |
| 瀬戸内の名勝日生の入り江を眼前にした、日当たりの良い高台に位置している。市の文化・体育ゾーンに接しており、バス停・商店も近く、落ち着いた風光明媚なロケーションである。 開設して1年あまりのホームで、前回指摘された要改善点について、管理者・従業員が心を合わせて真摯に改善に取り組んでいる。入居者の個性を尊重し、わきあいあいとした笑顔あふれるグループホームを目指し頑張っている。 入居者の安心した生活のため、地域の総合病院・歯科医院、近くの内科医院とは緊密な協力体制が出来ており、週一度の往診はもちろん、常時専門家による健康管理の指導と緊急時における入院等の対応が確保されている。 継続したケアを目指して、入居者個々への担当制を取り入れている。全職員が全入居者の個性・生活歴をしっかりと把握しており、万一、交代しても一貫したサービスを提供することができ、変化がある時には、直ちに誰かが対応出来る体制になっている。 その人らしい生活が出来るように、ホームでは毎日の決まったスケジュールは無く、入居者個々の生活リズムを大切にしている。 入居者が食事を選び作る楽しみ、食べる楽しみをホーム生活の基本にしている。調理の得意な職員が多く、入居者と相談して献立を決めて一緒に手伝ってもらい、食事を共に作る喜びを生活リハビリとして取り入れている。入居者には毎日の料理が大好評で、グループホームあいあいの魅力となっている。 |
| 特に改善の余地があると思われる点(記述) |
| ホームを開設して1年、何も事ここからのホームであるが、代表者・ホーム長・管理者・スタッフ一同が心を合わせて、新しいシステムの構築に向かって努力している姿勢がうかがえる。近くの運動公園の利用、保育園・幼稚園との連携を視野に入れ、地域の民生委員・町内会長と共に地域運営推進協議会を予定し、地域福祉の拠点として頑張っている。入居者の安全面への配慮と同時に、人間性を尊重した介護サービスの実現を目指す努力を進めていくことを期待する。 |

I 運営理念

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|--|-------|-----|
| 1 | 理念の具体化、実現及び共有 | | |
| 記述項目 | グループホームとしてめざしているものは何か(記述) 職員は入居と共に、和気あいあいとして、愛が溢れる笑顔があふれる「あいあい」の家庭的な環境の中、人間性を尊重した自分らしく安らぎのある生活を送ることを目指している。 ホーム長・管理者は入居者の過去の生活経験を重視し、継続した生活ができるように、入居者一人ひとりの特性と潜在的な可能性を生かし、入居者に生きがいと自立意欲を持ってもらうように努力している。 地域貢献と地域福祉の中核となるべく、近くの幼稚園・保育園等と交流を構築し、地域の民生委員・町内会長の方々と地域運営推進協議会結成を進め、地域と共にあるグループホームを目指している。 日生の海と山に恵まれた気候風土の中で、静かで自由な生活スタイルを尊重した快適で明るいグループホームとなることを目指している。 | | |

II 生活空間づくり

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|---|-------|-----|
| 2 | 家庭的な共用空間作り | | |
| 3 | 入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり | | |
| 4 | 建物の外回りや空間の活用 | | |
| 5 | 場所間違い等の防止策 | | |
| 記述項目 | 入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述) 職員は入居者を尊重し、人生の先輩として学ぶ姿勢を持って穏やかに丁寧に接し、心落ち着いて生活出来るように努力している。 共用空間は開放的で明るく、ウッドデッキからは海が見渡せる。畳のコーナーもあり、入居者はそれぞれ自分の自由な居場所と時間を持つことが出来ている。精神的摩擦が生じないように取り組み、常に寄り添うようにして孤立感を与えないようにしている。 入居者の今までの生活歴・生活習慣を大切に、昔と同じ生活スタイルが続くように取り組んで精神的安定を図っている。 | | |

III ケアサービス

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|----|---------------------------|-------|-----|
| 6 | 介護計画への入居者・家族の意見の反映 | | |
| 7 | 個別の記録 | | |
| 8 | 確実な申し送り・情報伝達 | | |
| 9 | チームケアのための会議 | | |
| 10 | 入居者一人ひとりの尊重 | | |
| 11 | 職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ | | |
| 12 | 入居者のペースの尊重 | | |
| 13 | 入居者の自己決定や希望の表出への支援 | | |
| 14 | 一人で行えることへの配慮 | | |
| 15 | 入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫 | | |
| 16 | 食事を楽しむことのできる支援 | | |

III ケアサービス(つづき)

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|--|-------|-----|
| 17 | 排泄パターンに応じた個別の排泄支援 | | |
| 18 | 排泄時の不安や羞恥心等への配慮 | | |
| 19 | 入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援 | | |
| 20 | プライドを大切にされた整容の支援 | | |
| 21 | 安眠の支援 | | |
| 22 | 金銭管理と買い物支援 | | |
| 23 | 認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保 | | |
| 24 | 身体機能の維持 | | |
| 25 | トラブルへの対応 | | |
| 26 | 口腔内の清潔保持 | | |
| 27 | 身体状態の変化や異常の早期発見・対応 | | |
| 28 | 服薬の支援 | | |
| 29 | ホームに閉じこもらない生活の支援 | | |
| 30 | 家族の訪問支援 | | |
| 記述項目 | 一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述) 入居者個々の経験・生活能力を理解し、そのデータを職員全員が共有し、本人の自主性を共同生活の中で生かすようにしている。 入居者への礼儀を大切に「～さん」と尊称を使っている。本人の思っている現実を受け入れ、本人の理解能力に合わせて会話を行ない、個人の尊厳を守るようにしている。 職員には守秘義務を徹底しており、関係する個人情報は事務所まで保管され、管理者によって責任を持って確実に管理されている。 | | |

IV 運営体制

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|--|-------|-----|
| 31 | 責任者の協働と職員の意見の反映 | | |
| 32 | 家族の意見や要望を引き出す働きかけ | | |
| 33 | 家族への日常の様子に関する情報提供 | | |
| 34 | 地域との連携と交流促進 | | |
| 35 | ホーム機能の地域への還元 | | |
| 記述項目 | サービスの質の向上に向け日頃から、また、関係発生を契機として、努力しているものは何か(記述) 職員会議の頻度、テーマを定めて管理者を中心に勉強会を行い、介護サービスの質向上に積極的に取り組んでいる。外部研修にも率先して参加し、その内容を持ち帰って全員で共有し、入居者が安らぐ生活が出来るように努力している。 管理者は看護師であり、入居者の身体状況変化に対応する職員の訓練が行き届いている。緊急時には直ちに看護師である管理者に報告して指示を仰ぎ、担当者で協議し、状況によっては提携医療機関に連絡して対応してもらえ体制の確立を目指している。 ホーム内での衛生管理には特に留意し、職員・入居者とも手洗いを励行し、キッチン・食堂等の清潔保持には滅菌設備を活用して、食中毒や感染症等の発生を未然に防ぐようにしている。 事故、ヒヤリ・ハットは入居者の特性・習慣と合わせて記録して全職員に周知しており、常時、入居者の行動を良く承知して事故発生に至らないように努力している。 | | |